

第 17 回大分 NST 研究会のご報告とお礼

第 17 回 NST 研究会 当番世話人
国家公務員共済組合連合会 新別府病院
外科 菊池 暢之

入梅の候、大分 NST 研究会の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと存じます。

去る 6 月 1 日、第 17 回大分 NST 研究会を、大分コンパルホールで、無事開催することができました。当日は、生憎の雨模様でしたが、熱き思いを抱いた、多くの皆様の御出席により、盛会となりましたこと大変感謝致しております。

一般演題の座長の労をお取りいただいた、井野辺病院 石松俊之先生、大分岡病院 井上真先生、また一般演題をご発表頂きました、西別府病院 阿部真世先生、健康保険南海病院 成松聖先生、新別府病院 上田早紀先生、臼杵市医師会立コスモス病院 宮村美香先生、大分岡病院 小椋幹記先生 には厚く御礼申し上げます。

さらに、特別講演の藤田保健衛生大学 外科・緩和医療学講座 教授 東口高志 先生には、近い将来に迎える、病院で受け入れ困難な数の高齢患者に対して、「食べて直す、食べて癒すプロジェクト (AMPO.tv)」を立ち上げられたことにより、生き生きと生き、最後まで自分の人生を全うできるような日本の医療を目指した取り組みについて、熱く語って頂きました。

この研究会で学んだことを、会員皆様の施設で活かしていただき、大分の医療がさらに素晴らしいものになれば、当番世話人として、望外の喜びです。

次回の大分 NST 研究会にもご参加頂きますようお願いいたしますことを最後に、今回の大分 NST 研究会のご報告とさせていただきます。ありがとうございました。